

神奈川県立愛川高等学校校歌

作詞 城川四郎

作曲 続橋久美子



一、中津の川の水ぬるみ

岸辺萌黄に 淡く染む

木群の瑞枝 伸び初めて

希望の空に 競うごと

若き友どち 集い来て

豊けき精神を はぐくまん

ああ われら愛川

愛川高校

二、仏果の尾根に 春ける

陽は赤々と 校舎染む

ここしき嶺は 際やかに

天地をわかち ゆるぎなし

若き友どち 集い来て

不屈の精神を 培わん

ああ われら愛川

愛川高校

三、三増台地に 雄叫びし

勇士どもが 夢のあと

著き学び舎 誇らかに

青春の夢ぞ 満ちわたる

若き友どち 集い来て

自立の精神を 築きなん

ああ われら愛川

愛川高校

校章の由来

「愛川町にぜひ県立高校を」という町の多年の願いが稔って愛川高校が誕生した。校章には、本校設立に寄せられた地元愛川町の並々ならぬ熱意が、愛川町の町章を元にした図案の中に生き生きと表現されている。

校章の両側には将来、希望の空に力強く羽ばたく若鳥の翼がたたまれている。右の翼は、片仮名の「ア」を、左の翼は片仮名の「イ」を図案化したものである。中央には、輝く知性の流れ止まざる川がある。翼の力感と川の清冽とが円滑な人格を示す円形の中に調和して「アイ川高」とよむことができる。